

令和 8 年度 年間指導計画（シラバス）

概要

教科名	国語	年次	1 年次
講座名 (クラスコード)	現代の国語 (175uecd5)	単位数	2 単位
授業形式・ 概要等	一斉授業（講義形式）		
到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
使用教材	教科書：高等学校 改訂版 標準 現代の国語(第一学習社) 副教材：改訂版 標準 現代の国語 学習課題集(第一学習社) 常用漢字の 1・2 トライ（浜島書店） ビジュアルカラー国語便覧 改訂版（大修館書店）		
学習の アドバイス 注意事項等	自ら学ぶ姿勢を持って積極的に授業に参加してください。		

評価について

観点	規準	方法
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	小テスト 単元テスト
②思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	単元テスト 発問評価 成果物の提出 発表・報告
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度 学習課題集の提出 成果物の提出 発表・報告

学習計画

月	学習内容（単元）	評価の規準と観点
4	・ 視野を広げる 「枠を壊して自由に生きる」 「書き方の基礎レッスン」 「なぜ本を読むのか」 「話し方の基礎レッスン」	・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。(①) ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(①) ・ 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(①)
5	・ 自分の立場を明確にする 「言葉遣いとアイデンティティ」	・ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(①)
6	・ 根拠を示す 「水の東西」 「間の感覚」	・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(①)
7	・ 論理的に考える 「私たちはなぜ承認を求めるのか」 「コンピュータが作る俳句」	・ 推論の仕方について理解を深めている。(①) ・ 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(①)
8		・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解を深め使っている。(①)
9	・ 情報を読み取る 「数量化のジレンマ」	・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(②)
10	・ 伝えたいことを明確にする 「言語としてのピクトグラム」 「身近な商品の取り扱い説明書を作成する」	・ 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。(②)
11	・ 考えを深める 「人はなぜ仕事をするのか」 「意見をまとめる話し合いをする」	・ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(②)
12	・ 社会に目を向ける 「黄色い花束」 「社会に対する意見文を書く」	・ 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(②)
1		・ 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(②)
2		・ 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。(②)
3		・ 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。(③) ・ 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。(③) ・ 本文を読んで自分の考えを深め、実社会から求めた題材を用いて積極的に検証しようとしている。(③)

令和8年度 年間指導計画（シラバス）

概要

教科名	国語	年次	1 年次
講座名 (クラスコード)	言語文化（クラスコード：x77jxsqy）	単位数	2 単位
授業形式・ 概要等	講義形式		
到達目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
使用教材	教科書：「改訂版 標準 言語文化」（第一学習社） 副教材：「学習課題集 改訂版 標準 言語文化」（第一学習社） ：「ビジュアルカラー国語便覧」（大修館書店）		
学習の アドバイス 注意事項等	古文・漢文の学習では、単語や文法等を理解し、現代の言葉に口語訳できる力を身につける必要があります。自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加してください。		

評価について

観点	規 準	方 法
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	確認テスト 課題提出
②思考・判断・表現	b「書くこと」、c「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	確認テスト 授業態度 発表・報告 課題提出
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	確認テスト 授業態度 発表・報告 課題提出

学習計画

月	学習内容（単元）	評価の規準と観点
4	随想 本と出会う	【通年の評価基準】 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。①※確認テスト実施 ・ 文語のきまりを理解する。①※確認テスト実施 ・ 漢文訓読の基礎知識を習得する。①※確認テスト実施 ・ 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。① ・ 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。② ・ 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。② ・ 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。③
5	古文入門 古文を読むために１～３ 児のそら寝 なよ竹のかぐや姫 絵仏師良秀	
6	漢文入門	
7	訓読に親しむ(一)～(三) 漢文を読むために１～３ 故事成語 漢文を読むために４・５	
8	随筆 枕草子 徒然草 古文を読むために４	【具体的な評価方法】 ・ 積極的な授業参加…③ ・ 課題に取り組もうとする態度…③ ・ 授業プリントでの記述…② ・ 単語や文法など知識の習得…① ・ テストで測る知識の定着度・内容の理解度…①②
9	史伝 完璧 先従隗始 臥薪嘗胆	
10	漢詩の鑑賞 唐詩の世界	
11	歌物語 伊勢物語 古文を読むために５	
12	軍記物語・日記 平家物語 土佐日記	【テスト等実施時期】 ４月中旬…古文入門 確認テスト ５月下旬…漢文入門 確認テスト ７月下旬…古文文法（用言の活用等）確認テスト ９月下旬…漢文文法 確認テスト １２月下旬…古文文法（助動詞）確認テスト ２月下旬…古文文法（敬語）確認テスト その他、作品毎に小テストを行います。
1	史伝を読む 鶏口牛後 完璧	
2	思想 論語	
3	物語 桃花源記 詩歌 万葉集 古文を読むために６・７ 現代の詩歌	

令和 8 年度 年間指導計画（シラバス）

概要

教科名	国語	年 次	2 年次
講座名 (クラスコード)	論理国語 (2A : cmn4wleh 、 2B : qwxncgqr)	単位数	2 単位
授業形式・ 概要等	講義形式（一斉授業）		
到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
使用教材	教科書：「 新 論理国語 」(三省堂) 副教材：「 いきいきとアライブ国語常識 」(浜島書店)		
学習の アドバイス ・ 注意事項等	自ら学ぶ姿勢を大切にして、積極的に授業に取り組んでください。		

評価について

観 点	規 準	方 法
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	小テスト 単元テスト 課題提出
②思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	小テスト 単元テスト 授業態度 課題提出
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	小テスト 単元テスト 授業態度 課題提出

学習計画

月	学習内容（単元）	評価の規準と観点
4	○論点を整理するために 「自分を捉え直す」 「他者を理解する」	【 主な評価の規準 】 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(①) ・ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。(①) ・ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(①) ・ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(①) ・ 推論の仕方について理解を深め使っている。(①) ・ 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(②) ・ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(②) ・ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(②) ・ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。(②) ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。(③) ・ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めたり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。(③) ・ 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。(③)
5	○正しく推論するために 「一人で爆笑」 「カタカナ語は享受すべきか」	
6	○事例の意味を探るために 「多様な視点から考える」	
7	○構成を吟味し説得力を高めるために 「落語の中の経済学」	
8	○信頼性を吟味するために 「なぜ私たちは労働するのか」	
9	○隠れた前提を探すために 「誰かの靴を履いてみること」	
10	○具体と抽象の関係を理解するために 「人類による環境への影響」	
11	○批評するために 「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」	
12	「言語ゲームと哲学的感度」	
1	○情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 「学びとは何か」	
2	「『知る』ということ」	
3	○解釈を広げたり深めたりするために 「科学には限界があるか」 「未来のありか」	

令和 8 年度 年間指導計画（シラバス）

概要

教科名	国語	年次	3 年次
講座名 (クラスコード)	国語表現 (3A : dfgrgvck 3B : kfkmezef5)	単位数	4 単位
授業形式・ 概要等	講義形式		
到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		
使用教材	教科書：「国語表現」（大修館書店） 副教材：国語表現 基礎練習ノート（大修館書店） 国語必携 ライトパーフェクト演習（尚文出版）		
学習の アドバイス 注意事項等	「意図が伝わる文章を書く」「プレゼンテーション」など、自分で考えて取り組む必要がある授業内容です。自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加してください。受け身の授業では何も身に付きません。		

評価について

観点	規 準	方 法
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	確認テスト 課題提出
②思考・判断・表現	a「話すこと・聞くこと」、b「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	確認テスト 授業態度 発表・報告 課題提出
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	確認テスト 授業態度 発表・報告 課題提出

学習計画

月	学習内容（単元）	評価の規準と観点
4	【第2部】表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ	【通年の評価基準】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。①※テスト実施 ・話し言葉、書き言葉の特徴と適切な使い方を理解し、使い分けられる。①※テスト実施 ・伝えたいことを明確にし、表現の仕方を工夫できる。② ・相手の反応に応じて言葉を選び、表現を工夫できる。② ・話し合いの仕方や結論の出し方を工夫したり批評したりできる。② ・学習に積極的に取り組もうとしている。③ 【具体的な評価方法】 ・積極的な授業参加…③ ・課題に取り組もうとする態度…③ ・授業プリントでの記述…② ・単語や文法など知識の習得…① ・テストで測る知識の定着度・内容の理解度…①② 【テスト等実施時期】 単元テスト実施予定 6月中旬…1 言葉と出会う 9月上旬…小論文・レポート 12月下旬…メディアを駆使する テストの他、授業内で書く作文や小論文で学んだことを生かしているか（②）、工夫しようとしているか（③）を評価します。
5	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う	
6	【第1部】表現力を培う 2 伝える、伝え合う	
7	【第1部】表現力を培う 4 自己PRと面接	
8	【第1部】表現力を培う 3 小論文・レポート	
9	入門	
10	【第1部】表現力を培う 6 会話・議論・発表	
11	【第1部】表現力を培う 5 メディアを駆使する	
12		
1	読書のひろば	
	表現を楽しむ	
2		
3		

令和 8 年度 年間指導計画（シラバス）

概要

教科名	国語	年 次	3 年次
講座名 (クラスコード)	探究国語 (cf6hibqq)	単位数	2 単位
授業形式・ 概要等	講義形式（一斉授業）		
到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
使用教材	副教材：「 思考の論理スイッチ 1（必修編）」（浜島書店） 「 思考の論理スイッチ 2（標準編）」（浜島書店）		
学習の アドバイス ・注意事項等	演習を主体とした授業となります。 自ら学ぶ姿勢を大切にして、積極的に授業に取り組んでください。		

評価について

観 点	規 準	方 法
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	小テスト 単元テスト 課題提出
②思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	小テスト 単元テスト 授業態度 課題提出
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	小テスト 単元テスト 授業態度 課題提出

学習計画

月	学習内容（単元）	評価の規準と観点
4	○オリエンテーション	【 主な評価の規準 】 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(①) ・ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。(①) ・ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(①) ・ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(①) ・ 推論の仕方について理解を深め使っている。(①) ・ 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(②) ・ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(②) ・ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(②) ・ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。(②) ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。(③) ・ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めたり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。(③) ・ 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。(③)
5	1. 論理的文章の読み方	
6	2. 論理的文章の読解	
7	3. 鑑賞文の読解	
8	4. 文学的文章の読解考察	
9	5. 語彙養成	
10	6. 長文問題の解法	
11		
12		
1		
2		
3		